情報設計小委員会 議事録

- A. 日時:2005年2月18日(金曜日) 18:30~20:30
 B. 場所:本会会議室
 C. 出席者:湯本・鳥谷部・北川・山極・岸本・木下(記録)(敬称略, 順不同)
 D. 提出資料(提出委員名)
 No.1: 議題メモ(湯本)
 No.2: シンポジウム開催通知(湯本)
 No.3: 建築雑誌「今伝えたいトピックス」2005年1月号記事コピー(湯本)

E. 審議事項

1 「空間と情報に関するシンポジウム1」について

- ・日程, PR先について確認した.
- ・当日の準備等について 司会: 鳥谷部、湯本 記録: 赤木 受付: 木下ほか
 コメンテーター: 松本、北川 (その他、委員が手分けして対応する)
 質問用紙を準備し、はじめに配布し休憩時に回収することとした。
 受付, 音声設備の準備を木下が担当することとした.

2 建築雑誌「今伝えたいトピックス」の記事執筆について

- ・内容は大きく3つとし, 2ページの内訳と担当を以下のようにすることとした.
 (1) 小委員会の紹介(1ページ, 湯本)
 (2) 「空間と情報に関するシンポジウム1」の報告(0.5ページ, 赤木)
 (3) 計画設計情報事典の紹介と次回セミナーの案内(0.5ページ, 鳥谷部)

3 次年度の活動について

- ・ラウンドテーブルについて担当の予定案を以下のように決めた.
 3月 北川【触地図・音空間などを含めた情報と空間】
 5月 木下【パラメトリックデザイン・触地図等の試み】
 6月 北川原【五感要素の融合したアート・デザインの可能性】
 7月 湯本+ゲスト【デザイン成果物の心理的生理的評価について】
 8月以降 岸本ほか
 9月 テキストを使用するセミナー
- ・次年度シンポジウムの開催予定を10-11月頃とし, 今後検討を進めることとした.
- ・竹中工務店の新オフィス見学の企画を具体化していくこととした(4月頃).
- ・グレッグ・リン氏の招聘の可能性について検討していくこととした.

【これまで1年展開して来た本委員会の研究活動ですが、以下のような研究戦略を考えています】

いま、『情報と空間の二元存在・相関性』と『情報で空間を創るパラメトリックデザイン』とに重点を置いてやっていますが、これに『知の融合・生産のための産々学々連携』という基盤システムを置き、一方で『デザインをユーザー側から評価・コントロールする手法・社会システム』を置きたいのです。社会評価システムは別途ありますが、デザインの評価はまた別に考えておきたいのです。

デザイン成果物の評価については、湯本は地元では、新しい地下鉄(3号七隈線)の駅周辺のデザインや、某独立行政法人のロゴマークデザインの評価(作成も)を、近年やりました。地下鉄は今月開業で、マークは3月に大量印刷し、世に問います。
http://www.aij.or.jp/jnetwork/scripts/view30.asp?sc_id=951 このシンポジウムが終わった頃から、7, 8月以降に少し新しい要素を始めたいと思っております。以上が研究戦略の大きな枠組で、他の委員会との学々連携も考えています。

F. 次回小委員会の予定 2005年3月25日(金曜日)18時30分~20時30分まで本会会議室
 議題(1) 年次シンポジウムの最終調整 (2) ラウンドテーブル(北川先生)

3月18日16:00-に変更(2/24メール審議)

資料を提出される方は、ご本人があらかじめ準備(15部)し、持参されるか、もしくは、事前(小

委員会の3日前まで)に原紙を事務局へ送付ください。

以上